

1 次のお話を読みましょう。

十一月は日本では霜月しもつきと呼ばれ、霜よが降りる月という名前が付いています。この季節は、朝と夜の気温差が大きく、木々の葉もきれいに色づく紅葉こうようの季節です。日本では、紅葉をケンブツ①することを、紅葉狩りもみじがと言います。紅葉狩りの狩りかというのは、草花を眺めるといいう意味があります。平安時代には、紅葉した木の枝を折り手の平にのせて鑑賞かんしょうするブンカ②がありました。現代げんだいでは木の枝を折り持ち帰ることは禁止きんされています。

紅葉の名所は、日本各地かくちにたくさんありますが、群馬県では谷川岳たにがわだけの紅葉やわたらせ渓谷鉄道けいこくの紅葉、赤城山あかぎさんの紅葉③がユウメイです。特に、わたらせ渓谷鉄道の紅葉は渡良瀬渓谷わたらせけいこくを走るトロッコ列車からの眺めが美しいと言われています。トロッコ列車は、一部分が外と触ふれていて窓まどにガラスが無く、スピードが出せない列車です。そのため外の景色けしきをゆつくり楽しむことが出来ます。

2 次の問題に答えましょう。

1. 線①～③を漢字で書きなさい。

【 ① 】 【 ② 】 【 ③ 】

2. 霜が降りるほど寒い十一月は、日本では何と呼ばれていますか。

【 】

3. 紅葉狩りの「狩り」というのは、どのような意味ですか。

【 】 という意味。

4. 線④とありますがなぜですか。理由が書かれている文章の初めの5文字を書きましよう。

--	--	--	--	--



1 次のお話を読みましょう。

十一月は霜しもも降りるほど寒く、冬の始まりでもありますが、真冬に比べると穏おだやかで暖あたたかい日もあります。この秋の終わりから冬の始まりにかけての暖かい日を、小春日こはるびより和と呼びます。小さな春と書きますが、冬の前の暖かい日を表す言葉です。① 、ヨーロッパやアメリカにも小春日和と同じような意味で使うインディアンサマーという言葉があります。十一月はこのような② 日があれば、北風が強くなり、吹き付ける寒い日もあります。冬の到来を告つげるこの風かぜを、木枯こがらしと呼びます。このように、寒い日や暖かい日を繰り返しながら秋から冬へと変わっていきます。

2 次の問題に答えましょう。

1. 小春日和とは、どのような日の事ですか。

2. ① に入るつなぎ言葉（接続語）を選びましょう。

ア. しかし イ. ところで ウ. また エ. だから

3. ② に当てはまる言葉を選びましょう。

ア. 暖かい イ. 寒い ウ. 涼しい

4. 線③とは、どのような風ですか。風の名前を【 】に書きなさい。また、その風の特徴を に合うように書きなさい。

名前【 】

冬の到来を告げる

風のこと。



1 次のお話を読みましょう。

焼き芋いもは江戸時代後期から続く、伝統的な日本のおやつです。江戸時代、庶民しょみんのおやつとして焼き芋はとても人気でした。しかし、焼き芋の原料となるサツマイモは大量に運ぶには重すぎて、陸路りくろで運ぶことは難むずかしかった時代でした。ところが、現在の千葉県の幕張市から江戸湾までは船が行きかっていることや、埼玉県の川越市から江戸までは川を通る船があったため、水路すいろを使って重いサツマイモを運ぶことができたと言われています。日本では昔から全国的に作られていたサツマイモですが、大量に江戸まで運べたことで幕張市と川越市はサツマイモの名産地として発展はってんしていきました。中でも川越産のサツマイモは上質じょうしつとされ、名産品となりました。

2 次の問題に答えましょう。

1. 焼き芋は何時代から続くおやつですか。

【時代】

2. 線①伝統的な…とありますが、日本の伝統文化に当てはまるもの全

てに○を付けましょう。また、知っている日本の伝統文化を

【 一つ以上書きましょう。】

ア. ボウリング イ. 囲碁・将棋 ウ. 漢字 エ. 茶道

【

3. 本文の順番に合うように()に数字を書きましましょう。

() 焼き芋は江戸時代から人気のおやつであった。

() 川越と幕張には江戸に繋がる水路があった。

() サツマイモを大量に運ぶには船を使っていた。



1 次のお話を読みましよう。

七五三という行事は、男の子は三歳と五歳になった年、女の子は三歳と七歳になった年にお祝いする日本の行事です。昔は、医療が発展していなかったので、子どもが七歳まで生きることには大変でした。そのことから、七歳までの子どもは『神の子』として考えられていました。七歳になると、社会のイチインとして迎えられ、それが七五三のおイワイの始まりと言われています。明治時代になると現代の七五三に近い行事となっていきました。

このように節目の年れいでお祝いをする行事は他にもあります。二十歳のお祝いは成人式、六十歳では還暦、七十歳では古希というお祝いをします。百歳では百寿というお祝いをしますが、漢字の百から一を取ると白という漢字になるので九十九歳のお祝いは白寿と言います。

さて、日本は世界でも有数の長寿国です。長寿国というのは、寿命が長いということです。二〇二一年七月三十日に厚生労働省が発表した日本の平均寿命は、男性が八十二歳、女性が八十八歳です。最新の医療技術や医療サービスが充実していること、リョウコウな衛生管理が、日常的に行われていることも大きく影響しています。

世界に目を向けると、アフリカでは多くの国の平均寿命が五十歳代です。それは、衛生環境が十分に整備されていないことで病気にかかりやすいことや、貧困によって十分に栄養を取れないこと、医療サービスが不足している地域が多いことなどが要因です。

世界では、幸せに百歳を迎える人もいれば、生きたくても生きられずに苦しんでいる人達もいます。



2

次の問題に答えましょう。

1. 線①～③を漢字に、線④～⑤は読みを書きましょう。

① 【 ②】

③ 【 ④】

⑤ 【 ⑤】

2. 七五三が現代と同じような行事になったのは何時代ですか。

【 ⑥】

3. 日本の男性と女性の平均寿命の差は何歳ですか。

【 ⑦】 歳

4. 線⑥「日本は世…とありますが、その理由を文章中の言葉を使い40字以内でかきましょう。

5. このお話の内容と合うもの全てに○をつけましょう。

ア. 昔は子どもが七歳まで生きることが大変であったため、七歳以上になれた子どもを神の子と考えていた。

イ. 七五三の他にも年齢の節目でお祝いする行事があり、九十歳のお祝いは白寿という。

ウ. 日本の平均寿命は男女で約八十代と長寿国であるが、世界に目を向けてみると、長生きできない人達もいる。

エ. 日本では医療の発展によって長生きできる人も増えたが、衛生管理が行き届かず亡くなる人もいる。



1 次のお話を読みましょう。

12月25日のクリスマスはイエス・キリストの誕生を祝うお祭りです。しかし、キリストの誕生日が12月25日というのは定かではありません。日本では、1年で一番夜が長く、日が短い日を冬至①と言いますが、キリストの誕生を祝う日も、太陽の力が再びよみがえる日がふさわしいという事で、1年で一番日が短い日を選んでと言われています。

サンタクロースのモデルとなったのは現在のトルコに実在したカトリック教会の司教しきょう、セントニコラウスと言われています。彼は、貧しい家の子どものために、煙突からコインを投げ入れました。それが、暖炉だんろに干してあった靴下の中に入ったことが、サンタクロースが煙突

から入り靴下にプレゼントを入れる由来と言われています。また、クリスマスにはツリーを飾ります。ツリーの一番上には星を飾るのが一般的です。この星はイエス・キリストが生まれた時頭上に輝いていた星を象徴しており、『希望・輝き・賢者』という意味もあります。ツリーの飾りには、ボールのようなオーナメントや杖の形をしたキャンディケインなどもあります。アメリカのクリスマスとは、家族で過ごす一年の中でも大切な行事の一つです。当日はほとんどのお店が閉まって街は一変し、日本のお正月のような過ごし方をするそうです。

さて、日本でクリスマスが広まったのは明治時代です。いち早く生活にクリスマスの文化を取り入れたのは俳人で歌人の正岡子規と言われています。大正時代になると、お菓子の輸入をしていた会社が初めて街にイルミネーションを飾ったとされており、クリスマスイベントなども開かれるようになりました。それが、現在のデパートのクリスマス



マスセールやイベントなどの始まりです。クリスマスの歴史や国それぞれの過ごし方など調べてみると、おもしろいかもしれません。

2 次の問題に答えましょう。

1. 線①冬至とはどのような日でしょう。文中から十五字で書きなさい。

(句読点も一字とする)

2. サンタクロースのモデルとなった①人物の名前と②その人物がいた国の名前を答えましょう。

① 【 ②】

3. 線②サンタクロースが煙突から入り靴下にプレゼントを入れる由来を45字程度にまとめて書きなさい。(句読点も一字とする)

4. クリスマスツリーに飾る星には、どのような意味がありますか。

【 ①】

5. 次の空らんには当てはまる言葉を文中からぬき出しなさい。

クリスマスは ① に広まり、早く取り入れた人は正岡子規でした。大正時代になると ② が飾られるようになり現在のクリスマスに近い形になっていきました。

